

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	口腔内スキャナーを用いた法歯学的個人識別方法の開発
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2021年 3月 31日
研究の対象	本研究期間の間に本学法医学講座で法医解剖に付される御遺体
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：歯牙の写真等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（歯牙の写真等）
研究の意義、目的	<p>法歯学的検査による個人識別法は、一定の評価を得ているが、その方法論には検査に要する時間、採取データの質・量、保存様式・方法、再現性、管理方法のそれぞれが非効率的であり、大規模災害時に死体を見慣れていない検査者の歯科医師が心的外傷後ストレス障害（PTSD）を発症するなど改善すべき多くの問題を抱えている。これらを解決する方法として最新の歯科イノベーションである口腔内スキャナー（IOS）の応用が考えられる。</p> <p>本研究の意義は IOS を利用することにより、法歯学検査の実情を改革するものであり、その意義は IOS 方法論に依拠した法歯学的個人識別法の体系化を試みることにある。</p>
研究の方法	<p>司法解剖で撮影した画像資料を用いて、</p> <p>①3Dプリンターで歯型模型を作成し、生前資料である歯型模型との3次元パターンの照合実験を行う。</p> <p>②従来の法歯学検査との長短の比較検討を行う。</p> <p>③採取データの遠隔地にての利用可能性を実証する。</p> <p>④従来の法歯学的検査への汎用可能性を検証する。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて御遺族にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも御遺族に不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学 法医学講座 奥田 勝博（研究責任者） Tel: 0166-68-2433</p>